

平成 1 6 年 度

高 校 改 革 ア ン ケ ー ト

調 査 結 果 概 要

山梨県教育庁新しい高校づくり推進室

平成16年度高校改革アンケート調査の結果報告

調査の概要

1 調査の目的

県下の中学生、高校生、保護者及び中学校、高等学校の教員の高校改革等に対する考えや意見を把握し、今後の高校改革推進のための資料を得ることを目的とする。

2 調査内容と項目数

項目	調査内容	質問項目
中学卒業後の進路希望及び高校や制度について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学卒業後の進路希望(中学生、その保護者) (1) ・ 入学した高校の満足度(高校生、その保護者) (2) ・ 現行の高校制度の満足度(保護者、教員) (3) 	3
高校制度(高校改革)について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校進学を希望する(した)者の希望学科 (問1) ・ 高校選択の理由 (問2) ・ 総合学科 (問3) ・ 総合学科の系列 (問4) ・ 全日制単位制普通科高校 (問5) ・ 専門教育学科の学科の種類 (問6【1】) ・ 専門教育学科の学科数 (問6【2】) ・ 専門高校 (問7) ・ 定時制高校 (問8) ・ 中高一貫教育校 (問9) 	10
入試制度について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦入学者の割合 (問10) ・ 学区外入学者定員 (問11) 	2
計		15

3 調査対象 6,564人

- | | | |
|--------------|---------------------------------------|----------|
| (1) 中学2年生... | 無作為に抽出した中学校(30校)の1学級の生徒全員 | (1,013人) |
| (2) 中学3年生... | " | (1,007人) |
| (3) 高校1年生... | 無作為に抽出した高校(23校)の1学級の生徒全員 | (849人) |
| (4) 保護者 ... | (1)~(3)の生徒の保護者 | (2,869人) |
| (5) 教員 ... | (1)から(2)の中学の全学年クラス担任及び(3)の高校の全学年クラス担任 | (826人) |

4 調査方法 各学校を通じて実施

5 調査時期 平成16年9月~10月実施

6 回収結果

6,241件

	配付数	回収数	回収率
中学2年生	1,013	977	96.4%
中学3年生	1,007	979	97.2%
中学2年生保護者	1,013	913	90.1%
中学3年生保護者	1,007	929	92.3%
中学校教員	379	372	98.2%
高校1年生	849	827	97.4%
高校1年生保護者	849	799	94.1%
高校教員	447	445	99.6%
合計	6,564	6,241	95.1%

- 参考 (1) 比率(%)は、各項目ごとに小数点第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合もある。
- (2) 各設問を全体の傾向、調査対象者別、地域別、学科別に分析した。
- 全体の傾向...その設問に回答した全対象者を分析した。
調査対象者別...その設問に回答した調査対象者ごとに分析した。
地域別...中学生、中学保護者、中学教員を在籍する中学校の所在地域ごとに分析した。
学科別...高校生、高校保護者、高校教員を在籍する高校の学科ごとに分析した。
- (3) 普通科の通学区域及び総合選抜制度についての設問は、山梨県高等学校入学者選抜制度審議会で実施した「通学区域等に関するアンケート」で設けているので、今回の「高校改革アンケート」では設けていない。

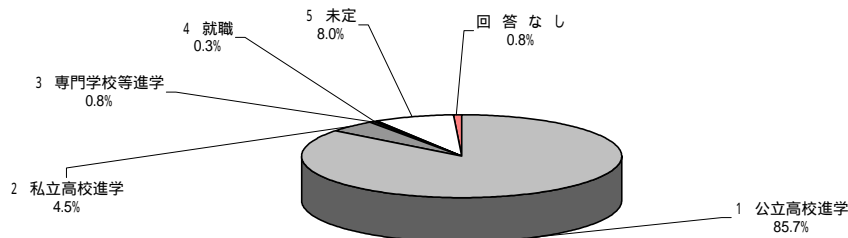
調査結果

(1) 中学生とその保護者の方にお聞きします。中学卒業後の進路は決めていますか。
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 公立高校進学 2 私立高校進学 3 高校以外の専門学校等進学
4 就職 5 未定

選択肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		保護者計		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 公立高校進学	743	76.0%	843	86.1%	1586	81.1%	828	90.7%	840	90.4%	1668	90.6%	3254	85.7%
2 私立高校進学	36	3.7%	69	7.0%	105	5.4%	16	1.8%	49	5.3%	65	3.5%	170	4.5%
3 専門学校等進学	6	0.6%	17	1.7%	23	1.2%	2	0.2%	6	0.6%	8	0.4%	31	0.8%
4 就職	3	0.3%	4	0.4%	7	0.4%	0	0.0%	3	0.3%	3	0.2%	10	0.3%
5 未定	177	18.1%	38	3.9%	215	11.0%	58	6.4%	30	3.2%	88	4.8%	303	8.0%
回答なし	12	1.2%	8	0.8%	20	1.0%	9	1.0%	1	0.1%	10	0.5%	30	0.8%
計	977		979		1956		913		929		1842		3798	

中学卒業後の進路



【今回の調査結果】

中学卒業後の進路について中学生とその保護者に尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「公立高校進学」と回答した比率が最も高く85.7%、以下、「私立高校進学」4.5%、「専門学校等進学」0.8%、「就職」0.3%の順である。

調査対象者別

- ・ 中学3年生についてみると、同時期に行われた「進路希望調査」とほぼ同じ結果が出ている。

	公立高校進学	私立高校進学	専門学校等進学	就職希望	その他	調査対象者
高校改革アンケート	86.1%(843人)	7.0%(69人)	1.7%(17人)	0.4%(4人)	4.7%(46人)	979人
進路希望調査(9 / 20)	89.4%(8,184人)	8.4%(772人)	0.7%(61人)	0.5%(45人)	1.0%(92人)	9,154人

- ・ 中学2年生についてみると、未定と回答なしを除くと以下のとおりである。

	公立高校進学	私立高校進学	専門学校等進学	就職希望	計
比率	94.3%(743人)	4.6%(36人)	0.8%(6人)	0.4%(3人)	788人

- ・ 保護者についてみると、生徒とほぼ同じ傾向にあるが、両学年とも中学生より、保護者の方が、公立を希望している比率が高い。

地域別(資料編 p.1参照)

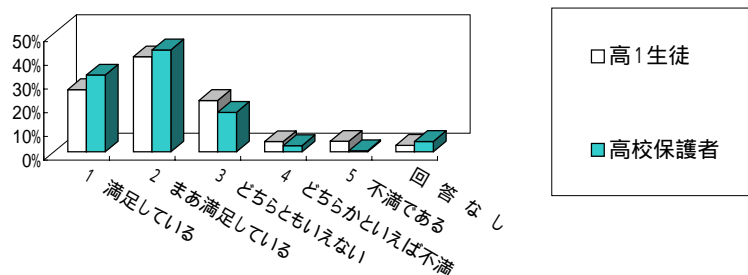
- ・ 中学3年生についてみると、「公立高校進学」と回答した比率が最も高い地域は南都留93.3%、以下、峡南89.9%、峡東88.8%、峡北86.3%、峡中84.7%、北都留79.4%の順である。

(2) 高校生とその保護者の方にお聞きします。進学した高校の学科(コース)について、どの程度満足していますか。(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 満足している 2 まあ満足している 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば不満である 5 不満である

選択肢	高1生徒		高校保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 満足している	218	26.4%	260	32.5%	478	29.4%
2 まあ満足している	333	40.3%	345	43.2%	678	41.7%
3 どちらともいえない	180	21.8%	134	16.8%	314	19.3%
4 どちらかといえば不満	36	4.4%	21	2.6%	57	3.5%
5 不満である	37	4.5%	4	0.5%	41	2.5%
回答なし	23	2.8%	35	4.4%	58	3.6%
計	827		799		1626	

入学した高校の満足度



【今回の調査結果】

高校1年生とその保護者に、在学している高校に対する満足度を尋ねた。

全体の傾向

- ・「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は71.1%であり、一方で、「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した比率は6.0%である。

調査対象者別

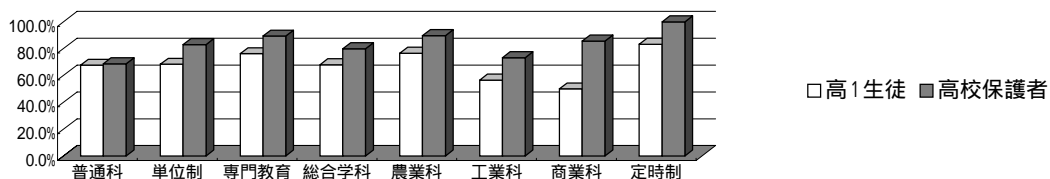
- ・「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は高校生66.7%、高校保護者75.7%である。「不満である」「どちらかといえば不満である」と回答した比率は高校生8.9%、高校保護者3.1%であり、生徒より保護者の方が満足度が高い。

学科別(資料編 p.2参照)

- ・学科別でみると、「満足している」「まあ満足している」と回答した比率は、いずれの学科においても生徒より保護者が上回った。
- ・「満足している」「まあ満足している」と回答した比率を学科別に表すと以下の表とグラフになる。

	普通科	単位制	専門教育	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制
高1生徒	67.7%	68.4%	76.3%	68.0%	76.6%	56.6%	50.0%	83.3%
高校保護者	68.7%	83.1%	89.4%	80.0%	89.7%	73.3%	85.7%	100.0%

入学した高校の満足度(学科別)

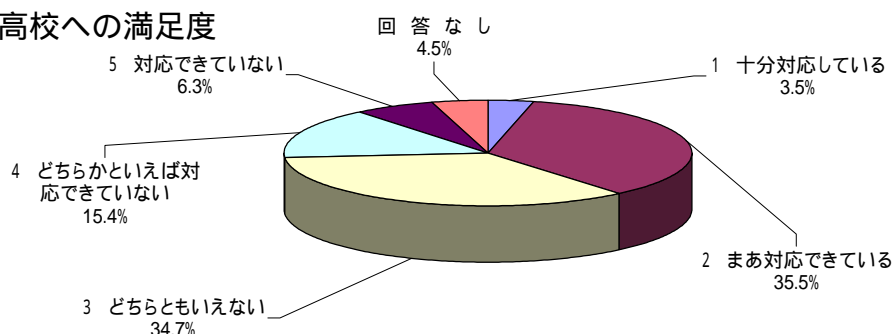


(3) すべての保護者と教員の方にお聞きます。現在の山梨県の高校の種類や数などは、生徒の多様な進路選択ニーズにどの程度対応できていると考えますか。
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 十分対応している 2 まあ対応できている 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば対応できていない 5 対応できていない

選択肢	中2保護者		中3保護者		高校保護者		中学教員		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 十分対応している	19	2.1%	37	4.0%	29	3.6%	16	4.3%	21	4.7%	122	3.5%
2 まあ対応できている	266	29.1%	285	30.7%	275	34.4%	190	51.1%	211	47.4%	1227	35.5%
3 どちらともいえない	381	41.7%	348	37.5%	252	31.5%	99	26.6%	121	27.2%	1201	34.7%
4 どちらかといえば対応できていない	155	17.0%	145	15.6%	141	17.6%	39	10.5%	54	12.1%	534	15.4%
5 対応できていない	63	6.9%	77	8.3%	53	6.6%	8	2.2%	16	3.6%	217	6.3%
回答なし	29	3.2%	37	4.0%	49	6.1%	20	5.4%	22	4.9%	157	4.5%
計	913		929		799		372		445		3458	

現行の高校への満足度



【今回の調査結果】

中学・高校の保護者及び教員に、現行の高校制度の満足度について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率は39.0%である。一方で、「対応できていない」「どちらかといえば対応できていない」と回答した比率は21.7%である。また、「どちらともいえない」と回答した比率は34.7%である。

調査対象者別

- ・ 「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い対象者は中学教員55.4%、以下、高校教員52.1%、高校保護者38.0%、中3保護者34.7%、中2保護者31.2%の順である。

地域別(資料編 p.3参照)

- ・ 中学保護者についてみると、「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い地域は峡中35.8%、以下、南都留35.4%、峡南35.0%、峡東33.7%、峡北29.0%、北都留23.7%の順である。
- ・ 同様に中学教員についてみると、北都留62.0%、以下、南都留59.1%、峡南57.1%、峡東54.1%、峡中53.9%、峡北50.0%の順である。

学科別(資料編 p.3参照)

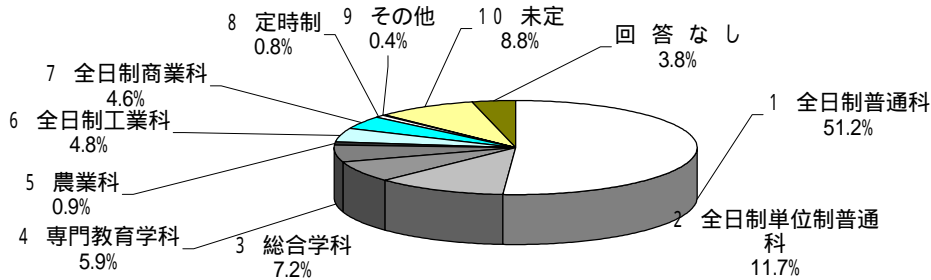
- ・ 高校保護者についてみると、「十分対応している」「まあ対応できている」と回答した比率が最も高い学科は定時制54.6%、以下、単位制普通科43.4%、総合学科40.0%、工業科37.8%、普通科37.3%の順である。
- ・ 同様に高校教員についてみると、定時制55.0%、以下、普通科53.9%、単位制普通科52.9%、総合学科51.1%、専門教育学科50.0%の順である。

問1 中学生、高校生とその保護者の方にお聞きします。次のどの学科に進学を希望していますか。(希望しましたか。) (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 全日制普通科(コースを含む) 2 全日制単位制普通科 3 総合学科
 4 専門教育学科(理数科・英語科等) 5 農業科 6 全日制工業科
 7 全日制商業科 8 定時制 9 その他() 10 未定

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		高1生徒		高校保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 全日制普通科	453	46.4%	482	49.2%	543	59.5%	505	54.4%	403	48.7%	389	48.7%	2775	51.2%
2 全日制単位制普通科	106	10.8%	146	14.9%	77	8.4%	126	13.6%	84	10.2%	97	12.1%	636	11.7%
3 総合学科	46	4.7%	84	8.6%	58	6.4%	71	7.6%	59	7.1%	70	8.8%	388	7.2%
4 専門教育学科	48	4.9%	57	5.8%	37	4.1%	51	5.5%	65	7.9%	60	7.5%	318	5.9%
5 農業科	3	0.3%	10	1.0%	1	0.1%	7	0.8%	16	1.9%	12	1.5%	49	0.9%
6 全日制工業科	34	3.5%	55	5.6%	33	3.6%	44	4.7%	51	6.2%	43	5.4%	260	4.8%
7 全日制商業科	14	1.4%	53	5.4%	17	1.9%	48	5.2%	61	7.4%	54	6.8%	247	4.6%
8 定時制	8	0.8%	5	0.5%	1	0.1%	4	0.4%	18	2.2%	9	1.1%	45	0.8%
9 その他	1	0.1%	6	0.6%	3	0.3%	4	0.4%	3	0.4%	2	0.3%	19	0.4%
10 未定	231	23.6%	48	4.9%	103	11.3%	30	3.2%	42	5.1%	26	3.3%	480	8.8%
回答なし	33	3.4%	33	3.4%	40	4.4%	39	4.2%	25	3.0%	37	4.6%	207	3.8%
計	977		979		913		929		827		799		5424	

希望学科



【今回の調査結果】

中学生、高校生とその保護者にどの学科に進学を希望する(希望した)か尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「全日制普通科」と回答した比率は51.2%であり、「単位制普通科」「専門教育学科」を合わせると68.8%で約7割が普通科系の学科を希望している。

調査対象者別

- ・ 「全日制普通科」と回答した比率は、中2生徒46.4%、中3生徒49.2%、中2保護者59.5%、中3保護者より高い。

地域別(資料編 p.4参照)

- ・ 中学生についてみると、「全日制普通科」と回答した比率が最も高い地域は峡南54.9%、次いで南都留54.4%である。また、「単位制普通科」と回答した比率が最も高い地域は北都留26.8%、次いで峡東の22.1%である。

学科別(資料編 p.5参照)

- ・ 実際に進学した学科が希望した学科であった場合の比率をみると、平成16年度入試においては、高校生とその保護者の希望学科へは約8割が進学している。

希望した学科と在籍している学科の一致する割合

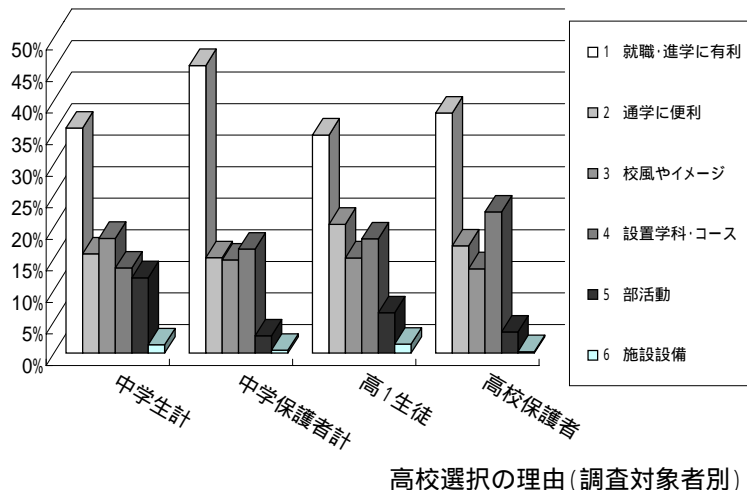
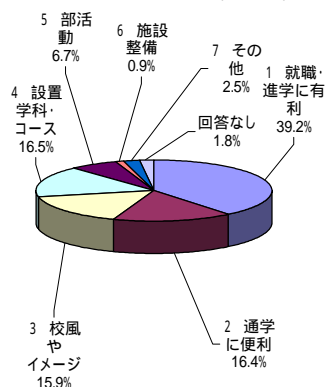
	普通科	単位制	専門教育	総合学科	農業科	工業科	商業科	定時制	全体
高1生徒	85.8%	67.5%	89.5%	73.3%	50.0%	81.7%	87.1%	94.4%	81.0%
高校保護者	83.3%	75.2%	76.3%	82.7%	41.4%	84.4%	77.1%	81.8%	79.7%

問2 中学生、高校生とその保護者の方にお聞きします。高校を選ぶとき、何に重きを置きますか。
(置きましたか。) (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 就職や進学時の有利さ 2 通学の便利さ 3 高校の校風やイメージ
4 高校にある学科やコース 5 部活動の状況 6 施設整備の状況
7 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中学生計		中2保護者		中3保護者		中学保護者計		高1生徒		高校保護者		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 就職・進学に有利	347	35.5%	351	35.9%	698	35.7%	418	45.8%	422	45.4%	840	45.6%	286	34.6%	304	38.0%	2128	39.2%
2 通学に便利	164	16.8%	144	14.7%	308	15.7%	133	14.6%	146	15.7%	279	15.1%	169	20.4%	136	17.0%	892	16.4%
3 校風やイメージ	163	16.7%	193	19.7%	356	18.2%	123	13.5%	149	16.0%	272	14.8%	125	15.1%	107	13.4%	860	15.9%
4 設置学科・コース	132	13.5%	132	13.5%	264	13.5%	170	18.6%	134	14.4%	304	16.5%	150	18.1%	179	22.4%	897	16.5%
5 部活動	129	13.2%	105	10.7%	234	12.0%	21	2.3%	30	3.2%	51	2.8%	53	6.4%	27	3.4%	365	6.7%
6 施設整備	14	1.4%	12	1.2%	26	1.3%	4	0.4%	5	0.5%	9	0.5%	12	1.5%	2	0.3%	49	0.9%
7 その他	11	1.1%	13	1.3%	24	1.2%	29	3.2%	25	2.7%	54	2.9%	23	2.8%	33	4.1%	134	2.5%
回答なし	17	1.7%	29	3.0%	46	2.4%	15	1.6%	18	1.9%	33	1.8%	9	1.1%	11	1.4%	99	1.8%
計	977		979		1956		913		929		1842		827		799		5424	

高校選択の理由(全体)



高校選択の理由(調査対象者別)

【今回の調査結果】

中学生、高校生とその保護者に高校を選択する際、何に重きを置くか尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「就職や進学時の有利さ」と回答した比率が最も高く39.2%、以下、「高校にある学科やコース」16.5%、「通学の便利さ」16.4%、「高校の校風やイメージ」15.9%の順である。

調査対象者別

- ・ 全ての対象者で「就職や進学時の有利さ」と回答した比率が最も高く、生徒よりも保護者の方が高校選択時に就職や進学を重要視している傾向がある。
- ・ 特徴的な傾向として、保護者は、就職や進学に次いで設置学科やコースを高校選択時に重要視している。また、他の対象者と比較すると、中学生において「部活動の状況」を選択する比率が高くなっている。

地域別(資料編 p.6参照)

- ・ 中学生とその保護者についてみると、ほぼ全体の傾向と一致するが、峡南、峡北地域においては「通学の便利さ」と回答した比率が高い傾向にある。

学科別(資料編 p.6～7参照)

- ・ 高校生についてみると、専門教育学科と総合学科において「高校にある学科やコース」と回答した比率が、最も多い。その他の学科では「就職や進学時の有利さ」が高校選択時に重要視される傾向にあるが、普通科では、「通学の便利さ」と回答した比率が最も高い。

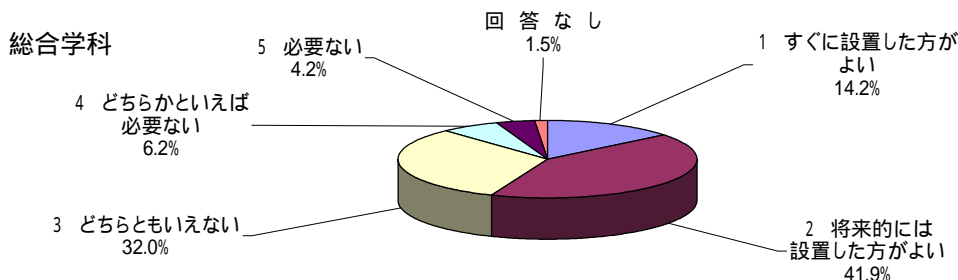
【総合学科】

問3 本県には、普通科目(国語、数学、英語など)から専門科目(農業、工業、情報ビジネス、福祉など)まで、幅広い科目の中から自ら選択して学ぶことのできる「総合学科高校」として甲府城西高校、北杜高校及び富士北稜高校があります。

今後も、総合学科高校は、県内に順次設置していくこととしています。現在、未設置となっている峡東・峡西南ブロックに総合学科高校を設置することについて、どう考えますか。
(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい 2 将来的には設置した方がよい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば必要ない 5 必要ない

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	157	16.1%	113	11.5%	197	21.6%	174	18.7%	32	8.6%	89	10.8%	100	12.5%	27	6.1%	889	14.2%
2 将来的には設置した方がよい	336	34.4%	374	38.2%	423	46.3%	414	44.6%	172	46.2%	360	43.5%	417	52.2%	118	26.5%	2614	41.9%
3 どちらともいえない	392	40.1%	406	41.5%	228	25.0%	249	26.8%	100	26.9%	296	35.8%	200	25.0%	124	27.9%	1995	32.0%
4 どちらかといえば必要ない	38	3.9%	33	3.4%	33	3.6%	47	5.1%	49	13.2%	39	4.7%	49	6.1%	100	22.5%	388	6.2%
5 必要ない	36	3.7%	26	2.7%	21	2.3%	28	3.0%	14	3.8%	38	4.6%	27	3.4%	74	16.6%	264	4.2%
回答なし	18	1.8%	27	2.8%	11	1.2%	17	1.8%	5	1.3%	5	0.6%	6	0.8%	2	0.4%	91	1.5%
計	977		979		913		929		372		827		799		445		6241	



【今回の調査結果】

今後、未設置地域に順次設置していくこととしている総合学科高校の必要性について尋ねた。

全体の傾向

・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は56.1%であり、一方で、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率は10.4%である。また、「どちらともいえない」と回答した比率は32.0%である。

調査対象者別

・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、中2生徒50.5%、中3生徒49.7%、中2保護者67.9%、中3保護者63.3%、高1生徒54.3%、高校保護者64.7%であり、生徒より保護者の方が高い。

地域別(資料編 p.8参照)

・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は、峡東61.0%、以下、峡北50.5%、南都留49.6%、峡中49.1%、峡南45.2%、北都留42.2%の順である。
・ 同様に中学保護者についてみると、南都留69.2%、以下、峡北67.0%、峡中及び峡東66.2%、北都留63.8%、峡南57.1%の順である。
・ 同様に中学教員についてみると、峡中61.2%、以下、南都留59.1%、峡北57.5%、北都留54.0%、峡東41.7%、峡南35.7%の順である。

学科別(資料編 p.8～9参照)

・ 総合学科についてみると「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高かったのは、高校保護者で77.4%、次に高校生53.3%である。

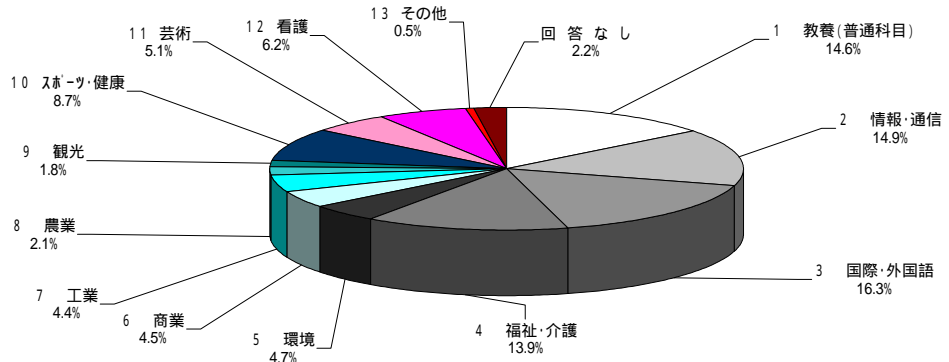
【総合学科の系列】

問4 総合学科高校では、いろいろな科目を用意して、その中から将来の進路などに合わせて科目を選択し、各自の時間割を作成して学習していきます。その時、どんな分野に属する科目があればよいと考えますか。（つぎの中から3つ選んで下さい。）

- | | | | |
|------------|------------|----------|---------|
| 1 教養(普通科目) | 2 情報・通信 | 3 国際・外国語 | 4 福祉・介護 |
| 5 環境 | 6 商業 | 7 工業 | 8 農業 |
| 9 観光 | 10 スポーツ・健康 | 11 芸術 | 12 看護 |
| 13 その他() | | | |

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 教養(普通科目)	502	17.1%	469	16.0%	391	14.3%	379	13.6%	136	12.2%	368	14.8%	307	12.8%	178	13.3%	2730	14.6%
2 情報・通信	290	9.9%	356	12.1%	471	17.2%	467	16.8%	209	18.7%	382	15.4%	405	16.9%	205	15.4%	2785	14.9%
3 国際・外国語	481	16.4%	421	14.3%	516	18.8%	498	17.9%	131	11.7%	431	17.4%	436	18.2%	135	10.1%	3049	16.3%
4 福祉・介護	228	7.8%	265	9.0%	474	17.3%	474	17.0%	224	20.1%	279	11.2%	436	18.2%	227	17.0%	2607	13.9%
5 環境	146	5.0%	127	4.3%	132	4.8%	112	4.0%	74	6.6%	89	3.6%	126	5.3%	74	5.5%	880	4.7%
6 商業	147	5.0%	212	7.2%	83	3.0%	111	4.0%	36	3.2%	117	4.7%	72	3.0%	67	5.0%	845	4.5%
7 工業	176	6.0%	187	6.4%	75	2.7%	69	2.5%	44	3.9%	148	6.0%	54	2.3%	75	5.6%	828	4.4%
8 農業	55	1.9%	52	1.8%	48	1.8%	45	1.6%	37	3.3%	46	1.9%	43	1.8%	76	5.7%	402	2.1%
9 観光	83	2.8%	62	2.1%	22	0.8%	41	1.5%	15	1.3%	51	2.1%	34	1.4%	24	1.8%	332	1.8%
10 スポーツ・健康	428	14.6%	343	11.7%	155	5.7%	190	6.8%	69	6.2%	209	8.4%	143	6.0%	100	7.5%	1637	8.7%
11 芸術	141	4.8%	159	5.4%	129	4.7%	159	5.7%	54	4.8%	139	5.6%	118	4.9%	53	4.0%	952	5.1%
12 看護	186	6.3%	184	6.3%	162	5.9%	159	5.7%	69	6.2%	183	7.4%	150	6.3%	73	5.5%	1166	6.2%
13 その他	17	0.6%	19	0.6%	9	0.3%	13	0.5%	3	0.3%	14	0.6%	8	0.3%	8	0.6%	91	0.5%
回答なし	51	1.7%	81	2.8%	72	2.6%	70	2.5%	15	1.3%	25	1.0%	65	2.7%	40	3.0%	419	2.2%
計	2931		2937		2739		2787		1116		2481		2397		1335		18723	

総合学科の系列



【今回の調査結果】

総合学科に設置を希望する科目群について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「国際・外国語」16.3%、「情報・通信」14.9%、「教養(普通科目)」14.6%、「福祉・介護」13.9%の順である。

調査対象者別(資料編 p.10 ~ 13参照)

- ・ 中学生についてみると、「教養(普通科目)」16.5%、「国際・外国語」15.4%、「スポーツ・健康」13.1%の順である。
- ・ 中学保護者についてみると、「国際・外国語」18.3%、「福祉・介護」17.2%、「情報・通信」17.0%の順である。
- ・ 中学教員についてみると、「福祉・介護」20.1%、「情報・通信」18.7%、「教養(普通科目)」12.2%の順である。
- ・ 高校教員についてみると、「福祉・介護」17.0%、「情報・通信」15.4%、「教養(普通科目)」13.3%の順である。

地域別(資料編 p.10 ~ 12参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.12 ~ 13)

【全日制単位制普通科高校】

問5 県立高校のうち、1学年・2学年などの学年の区分がなく、自分に適した教科・科目を選択、学習し、決められた単位数を修得すれば卒業が認められる「全日制単位制普通科高校」として、甲府西高校、日川高校、都留高校の3校があります。

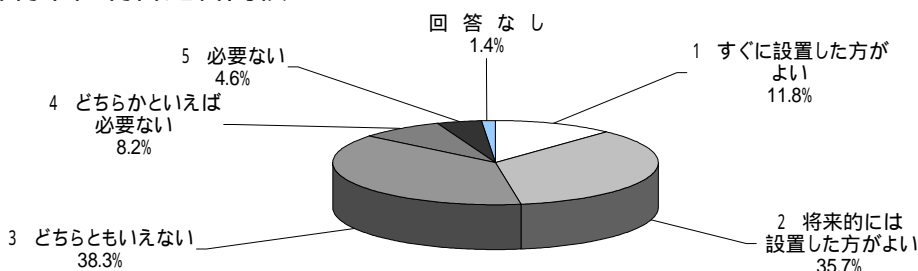
今後も全日制単位制普通科高校を設置していくことについて、どう考えますか。

(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい 2 将来的には設置した方がよい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば必要ない 5 必要ない

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	163	16.7%	130	13.3%	110	12.0%	113	12.2%	31	8.3%	92	11.1%	70	8.8%	29	6.5%	738	11.8%
2 将来的には設置した方がよい	270	27.6%	360	36.8%	352	38.6%	349	37.6%	165	44.4%	311	37.6%	322	40.3%	98	22.0%	2227	35.7%
3 どちらともいえない	409	41.9%	376	38.4%	350	38.3%	354	38.1%	115	30.9%	336	40.6%	301	37.7%	152	34.2%	2393	38.3%
4 どちらかといえば必要ない	59	6.0%	57	5.8%	68	7.4%	61	6.6%	49	13.2%	46	5.6%	73	9.1%	98	22.0%	511	8.2%
5 必要ない	60	6.1%	28	2.9%	21	2.3%	38	4.1%	10	2.7%	35	4.2%	26	3.3%	67	15.1%	285	4.6%
回答なし	16	1.6%	28	2.9%	12	1.3%	14	1.5%	2	0.5%	7	0.8%	7	0.9%	1	0.2%	87	1.4%
計	977		979		913		929		372		827		799		445		6241	

全日制単位制普通科高校



【今回の調査結果】

全日制単位制普通科高校の設置の必要性について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は47.5%であり、一方で、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率は12.8%である。また、「どちらともいえない」と回答した比率は38.3%である。

調査対象者別

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は、中2生徒44.3%、中3生徒50.1%、中2保護者50.6%、中3保護者49.8%、高1生徒48.7%、高校保護者49.1%であり、中2は生徒より保護者の方が高いが、中3、高校については、生徒と保護者はほぼ同じ割合である。

地域別(資料編 p.14参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は峡東57.4%、以下、峡北50.0%、峡中47.4%、北都留43.3%、南都留38.3%、峡南38.2%の順である。
- ・ 同様に中学保護者についてみると、峡東57.1%、以下、峡北52.0%、南都留51.8%、峡中50.8%、北都留41.7%、峡南41.4%の順である。
- ・ 同様に中学教員についてみると、峡北60.0%、以下、峡中58.6%、峡南57.1%、北都留46.0%、南都留45.4%、峡東44.5%の順である。

学科別(資料編 p.14～15参照)

- ・ 「全日制単位制普通科」の高校生とその保護者についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は高校生56.2%、高校保護者52.2%である。

【専門教育学科】(学科の種類)

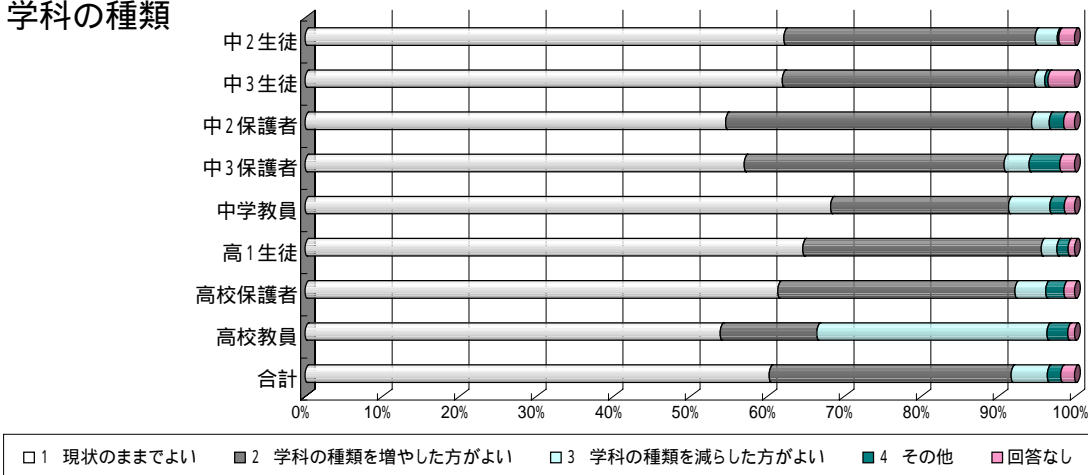
問6 本県の県立高校には、現在、専門教育学科として、理数科、英語科、文理科、国際教養科を設置しているところがあります。この学科についてどう考えますか。

(1) 学科の種類について (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 学科の種類を増やした方がよい
- 3 学科の種類を減らした方がよい
- 4 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	608	62.2%	607	62.0%	499	54.7%	530	57.1%	254	68.3%	535	64.7%	491	61.5%	240	53.9%	3764	60.3%
2 学科の種類を増やした方がよい	319	32.7%	321	32.8%	363	39.8%	314	33.8%	86	23.1%	256	31.0%	246	30.8%	56	12.6%	1961	31.4%
3 学科の種類を減らした方がよい	28	2.9%	13	1.3%	21	2.3%	30	3.2%	20	5.4%	17	2.1%	32	4.0%	133	29.9%	294	4.7%
4 その他	2	0.2%	4	0.4%	17	1.9%	37	4.0%	7	1.9%	12	1.5%	19	2.4%	12	2.7%	110	1.8%
回答なし	20	2.0%	34	3.5%	13	1.4%	18	1.9%	5	1.3%	7	0.8%	11	1.4%	4	0.9%	112	1.8%
計	977		979		913		929		372		827		799		445		6241	

学科の種類



【今回の調査結果】

専門教育学科の種類について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く60.3%、次いで「学科の種類を増やした方がよい」31.4%である。

調査対象者別

- ・ 高校教員についてみると、「現状のままでよい」と回答した比率が5割を超えるが、一方で「学科の種類を減らした方がよい」と回答した比率が29.9%と他の対象者と比べ高い。

地域別(資料編 p.16 参照)

- ・ 全体の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.16 ~ 17)

【専門教育学科】(学科数)

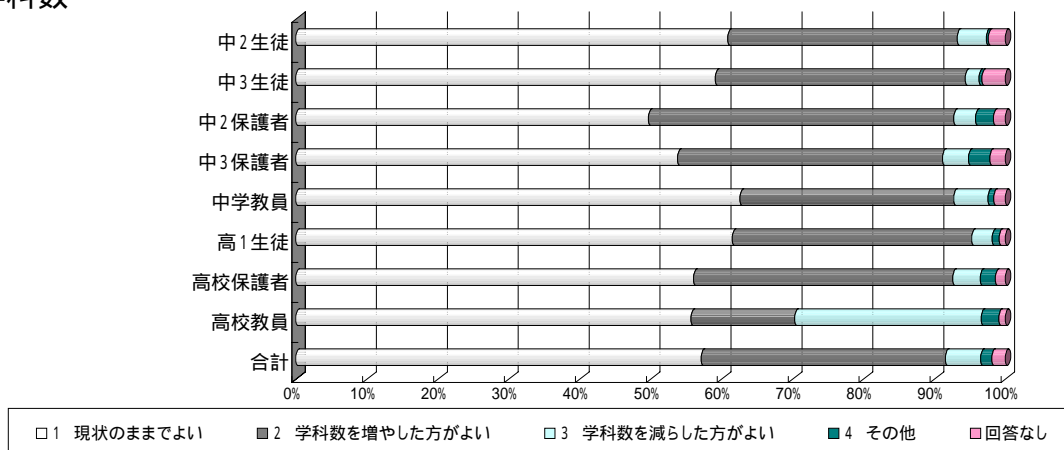
問6 本県の県立高校には、現在、専門教育学科として、理数科、英語科、文理科、国際教養科を設置しているところがあります。この学科についてどう考えますか。

(2) 学科数について (つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 学科数を増やした方がよい
- 3 学科数を減らした方がよい
- 4 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	595	60.9%	579	59.1%	454	49.7%	500	53.8%	233	62.6%	509	61.5%	448	56.1%	248	55.7%	3566	57.1%
2 学科数を増やした方がよい	316	32.3%	345	35.2%	393	43.0%	347	37.4%	112	30.1%	279	33.7%	292	36.5%	65	14.6%	2149	34.4%
3 学科数を減らした方がよい	40	4.1%	19	1.9%	28	3.1%	34	3.7%	18	4.8%	24	2.9%	31	3.9%	117	26.3%	311	5.0%
4 その他	3	0.3%	4	0.4%	23	2.5%	28	3.0%	3	0.8%	8	1.0%	17	2.1%	11	2.5%	97	1.6%
回答なし	23	2.4%	32	3.3%	15	1.6%	20	2.2%	6	1.6%	7	0.8%	11	1.4%	4	0.9%	118	1.9%
計	977		979		913		929		372		827		799		445		6241	

学科数



【今回の調査結果】

専門教育学科の学科数について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く57.1%、次いで「学科数を増やした方がよい」34.4%である。

調査対象者別(資料編 p.18～19参照)

- ・ 高校教員についてみると、「学科数を減らした方がよい」と回答した比率が他の対象者と比べて高く26.3%である。

地域別(資料編 p.18参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様に地域別の大きな差異は見られない。

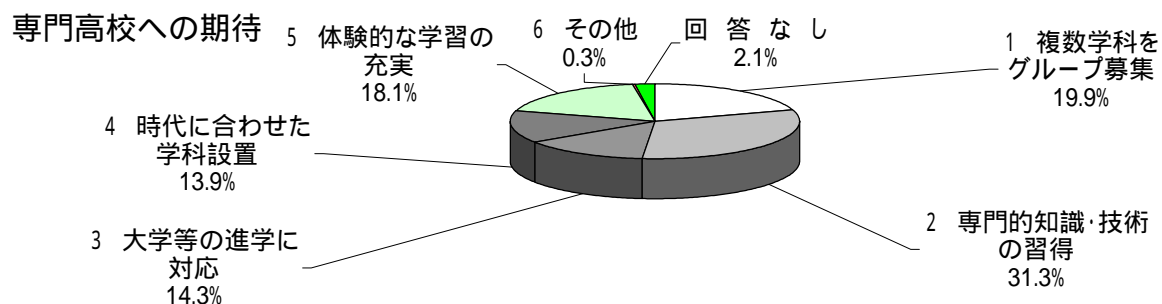
学科別(資料編 p.18～19)

【専門高校】

問7 農業高校、工業高校、商業高校などの専門高校の教育に、どのようなことを期待しますか。
(つぎの中から2つ選んでください。)

- 1 1年入学の段階で学科に分けず、共通に基礎的科目を勉強した後に、学科を選べるようにする
- 2 資格取得に必要な学習を行うなど、専門的な知識や技術を身につけた職業人を育成する
- 3 高校で学んだ知識や技術をさらに深めるため、大学等の進学に対応できる国語・数学や英語の教育を充実する
- 4 社会の変化に合わせ、設置学科を時代に合ったものに変える
- 5 実験や実習、企業での研修など、体験的な学習を充実する
- 6 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 複数学科をグループ募集	372	19.0%	373	19.1%	405	22.2%	407	21.9%	153	20.6%	310	18.7%	325	20.3%	145	16.3%	2490	19.9%
2 専門的知識・技術の習得	573	29.3%	624	31.9%	554	30.3%	541	29.1%	259	34.8%	549	33.2%	480	30.0%	329	37.0%	3909	31.3%
3 大学等の進学に対応	285	14.6%	261	13.3%	324	17.7%	312	16.8%	68	9.1%	196	11.9%	263	16.5%	77	8.7%	1786	14.3%
4 時代に合わせた学科設置	238	12.2%	235	12.0%	262	14.3%	307	16.5%	99	13.3%	212	12.8%	260	16.3%	123	13.8%	1736	13.9%
5 体験的な学習の充実	428	21.9%	390	19.9%	248	13.6%	242	13.0%	154	20.7%	348	21.0%	235	14.7%	211	23.7%	2256	18.1%
6 その他	6	0.3%	5	0.3%	3	0.2%	5	0.3%	1	0.1%	14	0.8%	5	0.3%	3	0.3%	42	0.3%
回答なし	52	2.7%	70	3.6%	30	1.6%	44	2.4%	10	1.3%	25	1.5%	30	1.9%	2	0.2%	263	2.1%
計	1954		1958		1826		1858		744		1654		1598		890		12482	



【今回の調査結果】

農業高校、工業高校、商業高校などの専門高校に何を期待しているかを尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「専門的知識・技術の習得」と回答した比率が最も高く31.3%、以下、「複数学科をグループ募集」19.9%、「体験的な学習の充実」18.1%、「大学等の進学に対応」14.3%、「時代に合わせた学科設置」13.9%の順である。

調査対象者別

- ・ 中学保護者、高校保護者についてみると、「大学等の進学に対応」と回答した比率が他の対象者と比べて高くなっている。

地域別(資料編 p.20参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.20～21)

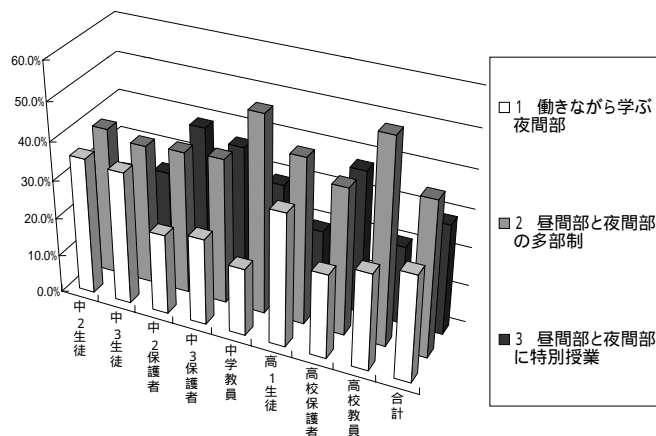
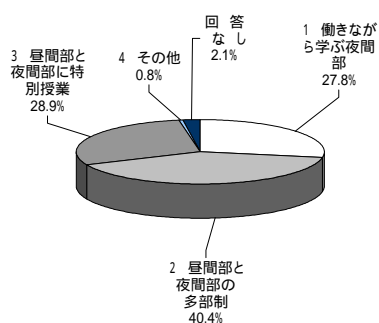
【定時制高校】

問8 中学卒業で就職する生徒が減少し、現在の定時制高校は、「働きながら学ぶ人のための学校」という役割だけではなく、さまざまな学習歴を持つ生徒の学習の場としての役割も持つようになってきています。あなたは、定時制高校の今後についてどう考えますか。
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状どおり、働きながら学ぶ人のため、夜間部を主に考える方がよい
- 2 多様な生徒が学習できるよう昼間部と夜間部をあわせ持つ多部制がよい
- 3 多様な生徒が学習できるよう昼間部と夜間部にさらに特別授業をあわせ持つ多部制がよい
- 4 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 働きながら学ぶ夜間部	350	35.8%	340	34.7%	192	21.0%	211	22.7%	66	17.7%	288	34.8%	176	22.0%	112	25.2%	1735	27.8%
2 昼間部と夜間部の多部制	378	38.7%	358	36.6%	341	37.3%	353	38.0%	192	51.6%	358	43.3%	306	38.3%	237	53.3%	2523	40.4%
3 昼間部と夜間部に特別授業	215	22.0%	241	24.6%	355	38.9%	336	36.2%	107	28.8%	158	19.1%	299	37.4%	91	20.4%	1802	28.9%
4 その他	7	0.7%	5	0.5%	10	1.1%	7	0.8%	2	0.5%	9	1.1%	4	0.5%	4	0.9%	48	0.8%
回答なし	27	2.8%	35	3.6%	15	1.6%	22	2.4%	5	1.3%	14	1.7%	14	1.8%	1	0.2%	133	2.1%
計	977		979		913		929		372		827		799		445		6241	

定時制高校



【今回の調査結果】

定時制の今後について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が最も高く40.4%、以下、「昼間部と夜間部に特別授業」28.9%、「働きながら学ぶ夜間部」27.8%の順である。

調査対象者別

- ・ 保護者についてみると、「昼間部と夜間部に特別授業」と回答した比率が他の対象者に比べ高く、中2保護者38.9%、中3保護者36.2%、高校保護者37.4%である。
- ・ 教員についてみると、「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が他の対象者に比べ高く、中学教員51.6%、高校教員53.3%である。

地域別(資料編 p.22参照)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.22～23参照)

- ・ 「定時制」の高校生についてみると、「昼間部と夜間部の多部制」と回答した比率が50.0%、「働きながら学ぶ夜間部」27.8%、「昼間部と夜間部に特別授業」22.2%である。
- ・ 「定時制」の保護者についてみると、「昼間部と夜間部に特別授業」と回答した比率が54.5%、「昼間部と夜間部の多部制」が45.5%である。

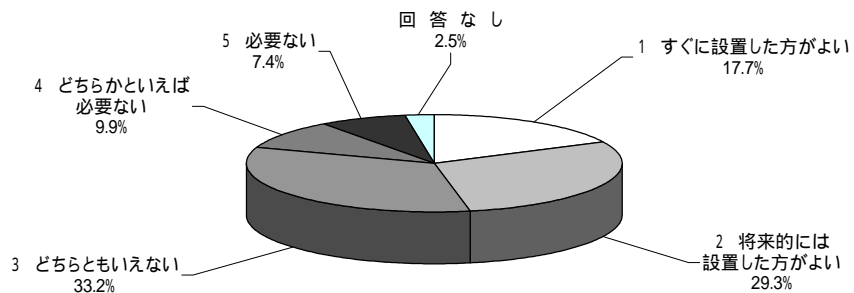
【中高一貫教育校】

問9 中学から高校までの6年間のいわゆる中高一貫教育は「入学に際しては学力検査は行わず、ゆとりある教育の中で個性や創造性を伸ばす」などを目的としています。このような中高一貫教育校を設置することについて、どう考えますか。
(つぎの中から1つを選んでください。)

- 1 すぐに設置した方がよい 2 将来的には設置した方がよい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば必要ない 5 必要ない

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 すぐに設置した方がよい	268	27.4%	231	23.6%	175	19.2%	149	16.0%	23	6.2%	106	12.8%	105	13.1%	50	11.2%	1107	17.7%
2 将来的には設置した方がよい	226	23.1%	276	28.2%	302	33.1%	336	36.2%	99	26.6%	212	25.6%	250	31.3%	129	29.0%	1830	29.3%
3 どちらともいえない	325	33.3%	320	32.7%	290	31.8%	289	31.1%	136	36.6%	321	38.8%	270	33.8%	120	27.0%	2071	33.2%
4 どちらかといえば必要ない	61	6.2%	65	6.6%	86	9.4%	62	6.7%	67	18.0%	89	10.8%	98	12.3%	87	19.6%	615	9.9%
5 必要ない	75	7.7%	55	5.6%	37	4.1%	53	5.7%	43	11.6%	85	10.3%	58	7.3%	58	13.0%	464	7.4%
回答なし	22	2.3%	32	3.3%	23	2.5%	40	4.3%	4	1.1%	14	1.7%	18	2.3%	1	0.2%	154	2.5%
計	977		979		913		929		372		827		799		445		6241	

中高一貫教育校



【今回の調査結果】

中高一貫教育校の設置の必要性について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は47.0%、一方で、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率は17.3%となり、「どちらともいえない」と回答した比率は33.2%である。

調査対象者別(資料編 p.24～25参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率は51.2%と過半数を占めている。
- ・ 同様に中学保護者についてみると、52.2%であり対象者の中で最も高い比率を示している。
- ・ 高校教員についてみると、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した比率が調査対象者の中で一番多く、32.6%である。

地域別(資料編 p.24参照)

- ・ 中学生についてみると、「すぐに設置した方がよい」「将来的には設置した方がよい」と回答した比率が最も高い地域は南都留56.8%、以下、峡東53.5%、北都留53.2%、峡北52.0%の順である。
- ・ 同様に中学保護者についてみると、峡北55.0%、以下、南都留54.9%、峡東53.2%、峡中52.7%の順である。
- ・ 中学教員では、峡南42.9%、以下、南都留40.9%、北都留38.0%、峡中31.6%の順である。

学科別(資料編 p.24～25)

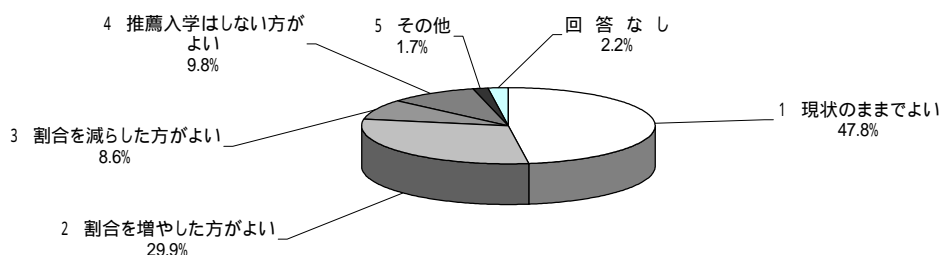
【推薦入学】

問10 本県では、学力検査では評価できない多様な個性や能力・適性、意欲などを評価するため、推薦入学を実施しています。あなたは、推薦入学について、どう考えますか。
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 推薦入学者の割合を増やした方がよい
- 3 推薦入学者の割合を減らした方がよい
- 4 推薦入学はしない方がよい
- 5 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	426	43.6%	434	44.3%	395	43.3%	403	43.4%	187	50.3%	521	63.0%	436	54.6%	181	40.7%	2983	47.8%
2 割合を増やした方がよい	448	45.9%	431	44.0%	317	34.7%	302	32.5%	24	6.5%	170	20.6%	126	15.8%	49	11.0%	1867	29.9%
3 割合を減らした方がよい	45	4.6%	57	5.8%	60	6.6%	60	6.5%	91	24.5%	67	8.1%	57	7.1%	99	22.2%	536	8.6%
4 推薦入学はしない方がよい	34	3.5%	23	2.3%	102	11.2%	109	11.7%	42	11.3%	51	6.2%	146	18.3%	104	23.4%	611	9.8%
5 その他	3	0.3%	6	0.6%	14	1.5%	25	2.7%	24	6.5%	6	0.7%	17	2.1%	11	2.5%	106	1.7%
回答なし	21	2.1%	28	2.9%	25	2.7%	30	3.2%	4	1.1%	12	1.5%	17	2.1%	1	0.2%	138	2.2%
計	977		979		913		929		372		827		799		445		6241	

推薦入学



【今回の調査結果】

推薦入学の在り方について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く47.8%、以下、「割合を増やした方がよい」29.9%、「推薦入学はしない方がよい」9.8%、「割合を減らした方がよい」8.6%の順である。

調査対象者別(資料編 p.26～27参照)

- ・ 中学生についてみると、「割合を増やした方がよい」と回答した比率が最も高く、44.9%である。
- ・ 中学保護者についてみると、「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く、43.3%である。
- ・ 高校生とその保護者についてみると「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く、高校生63.0%、高校保護者54.6%である。
- ・ 中学教員、高校教員についてみると、「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く、中学教員50.3%、高校教員40.7%である。また、他の調査対象者と比較すると、中学教員、高校教員において「推薦入学はしない方がよい」「割合を減らした方がよい」と回答した比率が高い。

地域別(資料編 p.26)

- ・ 調査対象者別の傾向と同様で地域別の大きな差異は見られない。

学科別(資料編 p.26～27)

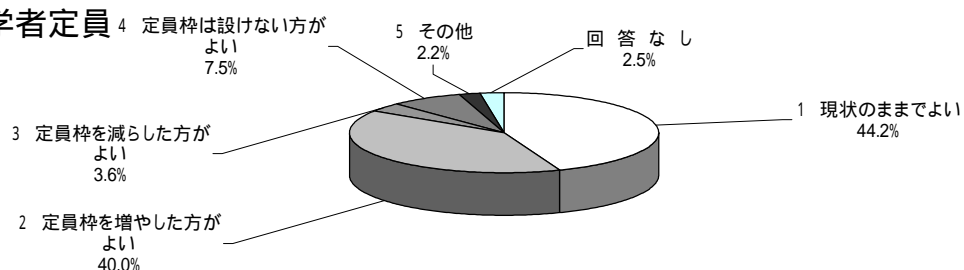
【学区外入学者定員】

問11 本県では、全日制普通科(全日制単位制普通科を除く。)の学区外からの入学者定員枠を、定員5%以内としています。このことについてどう考えますか。
(つぎの中から1つ選んでください。)

- 1 現状のままでよい
- 2 学区外からの入学者定員枠を現在より増やした方がよい
- 3 学区外からの入学者定員枠を現在より減らした方がよい
- 4 学区外からの入学者定員枠は設けない方がよい
- 5 その他()

選択肢	中2生徒		中3生徒		中2保護者		中3保護者		中学教員		高1生徒		高校保護者		高校教員		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1 現状のままでよい	416	42.6%	415	42.4%	374	41.0%	402	43.3%	193	51.9%	403	48.7%	360	45.1%	196	44.0%	2759	44.2%
2 定員枠を増やした方がよい	397	40.6%	421	43.0%	370	40.5%	354	38.1%	130	34.9%	350	42.3%	297	37.2%	175	39.3%	2494	40.0%
3 定員枠を減らした方がよい	62	6.3%	49	5.0%	32	3.5%	32	3.4%	7	1.9%	17	2.1%	16	2.0%	10	2.2%	225	3.6%
4 定員枠は設けない方がよい	72	7.4%	53	5.4%	82	9.0%	74	8.0%	20	5.4%	33	4.0%	79	9.9%	54	12.1%	467	7.5%
5 その他	6	0.6%	11	1.1%	29	3.2%	32	3.4%	18	4.8%	10	1.2%	27	3.4%	7	1.6%	140	2.2%
回答なし	24	2.5%	30	3.1%	26	2.8%	35	3.8%	4	1.1%	14	1.7%	20	2.5%	3	0.7%	156	2.5%
計	977		979		913		929		372		827		799		445		6241	

学区外入学者定員



【今回の調査結果】

学区外入学者定員枠の在り方について尋ねた。

全体の傾向

- ・ 「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く44.2%、以下、「定員枠を増やした方がよい」40.0%、「定員枠は設けない方がよい」7.5%、「定員枠を減らした方がよい」3.6%の順である。

調査対象者別(資料編 p.28～29参照)

- ・ 中3生徒についてみると、「定員枠を増やした方がよい」と回答した比率が最も高く、43.0%である。
- ・ その他の調査対象者については、「現状のままでよい」と回答した比率が最も高く、中2生徒42.6%、中2保護者41.0%、中3保護者43.3%、中学教員51.9%、高1生徒48.7%、高校保護者45.1%、高校教員44.0%である。

地域別(資料編 p.28)

- ・ 中学生についてみると、峡中、北都留については「現状のままでよい」と回答した比率が一番高いが、他の地域については、「定員枠を増やした方がよい」と回答した比率が一番高い。
- ・ 中学保護者についても同様の傾向である。

学科別(資料編 p.28～29)